

2021年5月17日
〈プレスリリース資料〉

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州

「サンタ・クルス病院人工呼吸器整備計画」に係る
草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

5月13日(木)午前10時00分より、サンタ・クルス日本病院において、サンタ・クルス日本病院82周年式典が実施され、式典の中で、「サンタ・クルス病院人工呼吸器整備計画」に係る我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が行われました。

式典の中で石川レナート同病院評議会議長からは、「この度の日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力による人工呼吸器の寄付と、JICA によるがんセンター設立の支援は、日本との絆の強さの証です。病院名をサンタ・クルス日本病院に変更することで、我々はその起源である日本国を称賛し、病院のトレードマークである尊厳あるケアと日本のおもてなしの精神により、引き続き患者の皆様にサービスを提供し続けていきます。」と謝辞を述べました。

佐藤マリオ同病院理事長からは、「この度の日本政府と JICA の寄付により、当病院の医療サービスがより高いレベルに引き上げられたことに感謝申し上げます。パンデミックによる困難は依然として続いておりますが、我々は着実に前進しています。これからもブラジルで最高レベルの病院となるべく全力で努力していきます。」と謝辞を述べました。

これに対して、桑名総領事からは、「寄付をした人工呼吸器が多くの患者の命を救うのに役立っていると聞きし、大変喜ばしいです。昼夜を問わず御尽力をされている医師、看護師、病院スタッフの皆様に、改めて敬意を表したいと思います。我々が一丸となってこの難局を乗り越えていきましょう。」と述べました。

●案件の基本情報

案件名：サンタ・クルス病院人工呼吸器整備計画
被供与団体：サンタ・クルス日伯慈善協会(サンタ・クルス日本病院)
プロジェクト実施地：サンパウロ州サンパウロ市
契約書署名日：2020年7月28日
供与限度額：89,116米ドル
供与品目：人工呼吸器 4台

●案件概要:

1. サンタ・クルス日伯慈善協会は、地域の中核病院(民間)であるサンタ・クルス日本病院を運営し、多数の新型コロナウイルス患者の受入れ、治療を全力で行っています。
2. 同病院は、民間医療施設で治療を受けられない低所得の新型コロナウイルス患者を受入れるなど、公立医療機関のネットワークを補完する方針を示しています。
3. 当館としては、現在、世界各地に急速に拡大している新型コロナウイルス感染症を人間の安全保障に関わる危機と捉え、上記患者を支援するため、同病院の人工呼吸器4台の購入に対し、89, 116米ドルを限度に無償資金協力を行いました。
4. 本件協力により、より多くの新型コロナウイルス患者が質の高い保健医療サービスを受けることが可能になり、我が国が推進する人間の安全保障の実現に貢献することを期待します。

(問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班
(0xx11)3254-0100

【式典の様子】



写真は左から、佐藤マリオ理事長、辻マルセロ院長、石川レナート評議会議長、桑名総領事、セルジオ・ソナーゴ・フェルナンデス集中治療担当医師